

温室効果ガス削減計画

1 事業の概要

(1) 事業所の名称

株式会社エフベーカリーコーポレーション広島工場

(2) 事業所の所在地

広島県東広島市志和流通1-30

(3) 業種

パン製造

(4) 事業所位置図

別紙のとおり

2 計画の期間

本計画の期間は、平成25年（2013年）年度を基準年度とし、令和2（2020年）年度から令和12（2030年）年度までの10年間とする

3 計画の基本的な方向

環境方針：省エネルギー、CO2排出削減、食品ロス・廃プラスチックの削減、リサイクルの推進に取り組みます。

4 温室効果ガスの排出状況（二酸化炭素換算）

【エネルギー起源二酸化炭素】

温室効果ガスの種類	温室効果ガス排出量（t-CO ₂ ）	
	基準年度	直近年度
	平成（25）年度	令和（5）年度
二酸化炭素	4,367	3,229

【非エネルギー起源二酸化炭素】

温室効果ガスの種類	温室効果ガス排出量（t-CO ₂ ）	
	基準年度	直近年度
	平成（ ）年度	令和（ ）年度
二酸化炭素		

【その他温室効果ガス】

温室効果ガスの種類	温室効果ガス排出量（t-CO ₂ ）	
	基準年度	直近年度
	平成（ ）年度	令和（ ）年度
メタン		
一酸化二窒素		
その他 温室効果 ガス （ HFC PFC SF ₆ NF ₃ ）		

5 温室効果ガスの総排出量に関する数量的な目標

《排出量を削減目標とする場合》

単位：排出量（t-CO₂）、削減率（%）

温室効果ガスの種類	基準年度 (平成25 (2013年) 年度)	削減目標		目標年度 (令和12 (2030年) 年度)
	排出量 (a)	削減率 (b)	削減量 (c)	排出見込量 (d)
エネルギー起源CO ₂	4,367	31.3	1,367	3,000
非エネルギー起源CO ₂				0
メタン				0
一酸化二窒素				0
その他 温室効果ガス				0
温室効果ガス 実排出量総計	4,367	31.3	1,367	3,000
温室効果ガス みなし排出量		—		3,000
目標設定の考え方				

※ 削減率(b) = (c) / (a) × 100 削減量(c) = (a) - (d)

《原単位を削減目標とする場合》

原単位算定に用いた指標：

単位：排出量(t-CO₂)、原単位置量(kg等)、削減率(%)

温室効果ガスの種類	基準年度 (平成25 (2013年) 年度)			原単位 削減目標 削減率 (d)	目標年度 (令和12 (2030年) 年度)		
	排出量 (a)	原単位 数値 (b)	原単位 (c)		排出 見込量 (e)	原単位 見込数値 (f)	原単位 見込 (g)
エネルギー起源CO ₂				#VALUE!			
非エネルギー起源CO ₂				#VALUE!			
メタン				#VALUE!			
一酸化二窒素				#VALUE!			
その他 温室効果ガス				#VALUE!			
総排出量				#VALUE!			
エネルギー消費原単位 (原油換算kl)	—	—		0.0	—	—	
目標設定の考え方							

※ 削減率(d) = { (c) - (g) } / (c) × 100 原単位(c) = (a) / (b) 原単位見込(g) = (e) / (f)

6 温室効果ガスの排出の抑制に係る措置及び目標並びに具体的な取組

○ 温室効果ガスの排出抑制に向けた取組

	項 目	数値目標	具体的な取組
1	電気使用量の削減	電気の使用量を0.05%削減	照明設備をLED化する
2	生産機器の空き時間に停止する	電気の使用量を0.1%削減	生産機器の使用していない時間は電源を切る
3	空調機温度管理	電気の使用量を0.5%削減	夏場と冬場で温度設定管理を行う。夏場冷房28℃・冬場暖房23℃
4			

※ 「原単位」で作成する場合は、数値目標欄の記載例中、「使用量」を「原単位」に適宜読み替えること。

○ 温室効果ガスみなし排出量の抑制に関する取組（環境価値の活用等）

	種 類	合計量
1		
2		
3		

○ その他の取組

	項 目	数値目標	具体的な取組
1			
2			
3			

※ 環境に配慮した実践的な取組などをされていれば記載してください。

7 温室効果ガス削減計画の推進並びに実施状況の点検及び評価に関する方法

(1) 推進・点検体制

FBC広島工場 工場長 --- 製造課長 --- 施設課係長

(2) 実施状況の点検・評価

(3) 計画書等の公表